

萩にあしあと残そよ

「特別発行 野口雨情と萩小唄」

野口雨情生誕 120 周年の
平成 14 年 (2002) 5 月建立

野口雨情の詩碑でした。何度か通り過ぎていた場所での思いがけない発見に、強い興味を持たないはずがありません。新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、一時休館していた市立図書館が四月に入り再開したので、鼻息も荒く足を運びました。

ところが、雨情の童謡に関する図書はあるものの、「萩小唄」の手がかりになりそうなものはありません。そこで、

◆野口雨情（本名英吉）は、明治一五年（一八八二）五月、現在の茨城県北茨城市に生まれ、昭和二〇年（一九四五）一月、疎開先の栃木県宇都宮市で生涯を閉じました。

「十五夜お月さん」「七つの子」「赤い靴」「船頭小唄」「波浮の港」など数々の有名作品を残し、北原白秋、西條八十

郷土資料のエリナーにないものかと思い、受付カウンターの女性に協力を求めました。しかし結果は同じでした。

結局、解説板に記載された参考文献『定本野口雨情』第5巻（未来社）と『野口雨情詩と民謡の旅』東道人著（踏青社）の二冊が、山口県立図書館にあるということで、取り寄せてもらうこととなり、到着の連絡を待ちました。

とともに「童謡三大詩人」と言われました。

やがて、地方への童謡・民謡普及のための講演旅行や詩

作の旅が多くなるとともに、全国各地でたくさんの新民謡作品を発表しました。

函情之口風

◆防長新聞の記事より◆
野口雨情けふ来山、県下を行脚して新防長民謡を作詞

民謡詩人野口雨情氏は一日

月の予定で県下民謡行脚を行つて防長民謡を作詞、帰京後、藤井清水氏の作曲でコロムビアに吹込み天下に宣伝するところになつた。

(昭和十年五月二日付)

野口雨情さん憧れの萩を訪

民謡作家野口雨情さんは、

二日午後二時頃、憧れの地萩に来り、史跡勝地を尋ねて、四日大津郡地方に向つたが、萩に滞在中ものした『萩民謡』は次の通り、（以下略）

(昭和十年五月五日付)

秋吉小唄—野口雨情氏作歌

を探勝した民謡詩人野口雨情

氏は、次の通り、秋吉小唄を

（昭和十年五月一三日付）

※東道人著『野口雨情と民謡の旅』より引用



塩原もの語り館で開催した
手作りにこだわった企画展

◆ 民謡行脚の成果◆
雨情の来県を伝える防長新聞記事によれば、五月二日に山口市入りし、数日の滞在をした後に県内各地を巡る予定であることが読み取れます。しかし、次の記事で「二日午後二時頃、憧れの地萩に来り」とあることから、雨情が「さつそく萩に行くでやんす」とばかりに出かけた様子が目に浮かびます。

雨情はこの山口民謡行脚において一三篇を作詞しました。「旅の風草」と題された詩作ノートの一冊目に訪問順に「萩」「湯本温泉」「仙崎」「秋吉」「防府三田尻」「上関」の六篇が、さらに二冊目に「柳井」「山口」「徳山」「岩国」「久賀」「玖珂」「高森」の七篇が収められています。

また別の時期に作られたものとして『定本野口雨情』第五巻に、「南蛮音頭」「宇部小唄」「室積小唄」の三篇が収録されています。

なお、紙上の表題は「萩民謡」となっていますが、「旅の風草」でも「萩小唄」とされており、もともと「萩小唄」として作られたようです。

〔 萩小唄 〕

野口雨情

波は渚に螢は草に
月は指月の蔭に入る

春は桜の川島堤

うすらおぼろの夜がつづく

②

萩の大橋流しちやならぬ
流しやたよりが遠くなる

萩の笠山明神池は
潮のみぢ引きまもならぬ

松下村塾昔のまま」

今も松風絶えやせぬ

匂ひゆかしく香もなつかしく
色も黄金の夏蜜柑



散歩も楽しい桜の並木

③ 松本大橋のことでしょう
か。詩中の表現とはいえ、
低湿地の多い三角州内の
萩では、古くから氾濫が
多かつたそうです。ちな
みに、昭和四九年（一九七
四）に上流に阿武川ダム
が完成しました。

泣いて見かへり別れを惜む
末はわかれて海に入る
涙松ではないけれど
砂は白砂松青々と
波も静かな菊の浜

①

指月とは、萩城の詰丸が
築かれていた指月山（標
高一四三m）のことです。

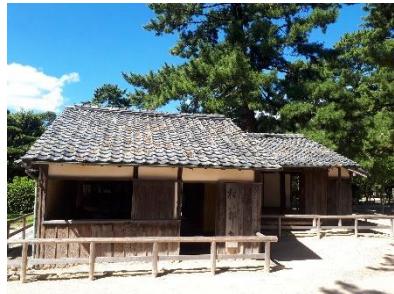
萩城は、慶長九年（一六〇
四）に毛利輝元が築城し
ました。

④

明神池は、笠山と本土と
の間に砂州ができる陸続
きになつた際、埋め残さ
れてできた池。溶岩塊の
隙間を通して外海と繋が
つてゐるため、干満に応
じて水位が変動します。



海水魚が泳ぐ明神池



松陰神社境内にある松下村塾

⑤

吉田松陰を祀る松陰神社
を参拝し、松下村塾を訪
れることが、雨情も楽し
みにしていたのではと、
自身に重ねたくなります。

⑥

夏みかんはかなりの高値
で取引されました。
当時知名度はもちろん、
経済的にも萩を支える黄
金色の果実でした。

⑦

江戸末期、外国船からの
襲撃に備え、日本海に面
した菊ヶ浜に築かれた土
墨。滅多に外に出ること
のなかつた武士の妻や奥
女中までが築造に参加し
たことから女台場（おな
ごだいば）と呼ばれます。

⑨

上流で長門峡の景勝を作
り出した阿武川が、松本
川と橋本川とに分かれ
て日本海に注ぎます。萩の
町はこの三角州内に形成
されました。

⑩

萩の代表的景観地である
菊ヶ浜のことです。詩の
とおり白砂青松の海岸で、
指月山や沖の島々を望む
ことができます。

〔 詩碑を建てた人物 〕

雨情詩碑を建立した人物は、
明神池の畔で「いそ萬」とい
う料理店を営む末武芳和氏で
す。ご本人が雨情好きで、伺
うと嬉しそうに経緯などを話
してくださいました。そして、
後日情報交換しようと意
気投合しました。山口県萩市
という場所で、野口雨情が縁
を紡いでくれたのです。

萩から山口を通つて三田
尻（現防府）までの萩往還。
萩を出発してから、城下
が望める最後の地に松並
木がありました。その「涙
松」において旅人は萩に
別れを告げたといいます。
安政の大獄で江戸に護送
される吉田松陰も歌を詠
んでいます。



人気の磯定食



帰った時は嬉し涙

帰らじと思い定めし旅なれば
ひとしほぬる涙松かな